

## 快適で安心して歩ける空間を増やしていきます



昨年度  
の成果

当初計画していた事業を予定どおり実施することができたため、目標を達成することが出来ました。

代表的な事業	目標	実績	評価	事業の説明
JR広駅・安芸阿賀駅周辺地区	800m整備	800m整備	😊	●歩道と車道の高低差を抑え、段差を緩やかにしました。 ●点字ブロックを使いやすくしました。
JR広島駅周辺地区	380m整備	380m整備	😊	●歩道と車道の高低差を抑え、段差を緩やかにしました。 ●点字ブロックを使いやすくしました。

今後の  
取り組み

今後も引き続き快適な歩行空間を目指して、バリアフリー化整備を行っていきます。

代表的な事業	目標	事業の説明
JR宮内串戸駅周辺地区	40m整備	歩道と車道の高低差を抑え、段差を緩やかにします。
JR西条駅周辺地区	840m整備	歩道と車道の高低差を抑え、段差を緩やかにします。

### バリアフリー化の指標(改良延長割合)



昨年度の成果

### JR広駅・安芸阿賀駅周辺地区



目的 障害者や高齢者でも利用しやすい歩行空間の実現  
対策 ●歩道と車道の高低差を抑え、段差を緩やかにしました。  
●点字ブロックを使いやすくしました。

効果 平成16年度は、800mの区間をバリアフリー化しました。

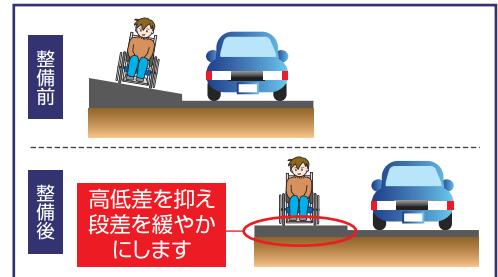


平成17年度の取り組み

### JR宮内串戸駅周辺地区



目的 障害者や高齢者でも利用しやすい歩行空間の実現  
対策 ●歩道と車道の高低差を抑え、段差を緩やかにします。  
●平成17年度は、約40mの区間をバリアフリー化します。



### 期待される整備効果

歩道と車道の高低差を抑え、段差を緩やかにすることで、障害者や高齢者にとって安全で快適な空間を実現します。



昨年度の成果

当初計画していた事業を予定どおり実施することができたため、目標を達成することが出来ました。

代表的な事業	目標	実績	評価	事業の説明
市道西1区 駅前観音線	約350m整備	約350m整備	☺	歩行者と自転車空間の視覚的分離を行いました。
一般国道2号観音本町地区	約320m整備	約320m整備	☺	歩行者と自転車空間の視覚的分離を行いました。

今後の取り組み

今後も引き続き幅員の広い歩道について、歩行者と自転車空間の視覚的分離を行います。

目標値と実績値

H15 基準実績

5,070m

達成

目標 6,410m

実績 6,410m

指標の表現の変更

広島市において『交通ビジョン推進プログラム』<sup>※10</sup>が策定されたのをうけ、本年度からプログラム内で使用されている『広島市中心部における歩行者・自転車分離の整備率』を指標として採用します。尚、本指標は広島市中心部において舗装色の違いや路面標示などにより歩行者と自転車が分離されている道路の整備率を表現したもので

H16 基準実績

9% (3.2km)

※整備率(整備延長)

昨年度の指標との変更点

- 整備延長ではなく、対象路線における整備延長割合で評価します。
- 整備延長は上り・下り別に集計していましたが、今回は上り・下りを区分せず路線延長で集計します。
- 自転車道の整備や舗装色の違いによる歩行者と自転車の視覚的分離を対象としていましたが、今回は路面標示による視覚的分離も対象とします。

H17 目標

18% (6.3km)

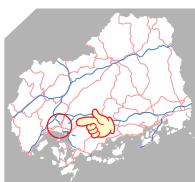
H19 目標

36% (12.5km)

昨年度の成果

一般国道2号観音本町地区および市道西1区 駅前観音線

達成 ☺



目的 歩行者と自転車の安全な共生を図るために利用環境の改善

対策 ●歩行者と自転車空間の視覚的分離  
●電線共同溝工事

効果 歩行者と自転車の通行スペースを分離することにより、広島市中心部の交通環境の改善を図りました。



市道西1区 駅前観音線

区間

約350m(※路線延長)

整備内容

電線共同溝工事  
歩行者と自転車空間の視覚的分離



国道2号観音本町地区

区間

約320m(※路線延長)

整備内容

電線共同溝工事  
歩行者と自転車空間の視覚的分離



平成17年度の取り組み

平成19年度に向けての取り組み事業



未整備区間に重点的に、歩行者と自転車の通行スペースを分離することにより、広島市中心部の交通環境を改善していきます。